

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●坂井瑠星騎手が通算200勝、松山弘平騎手が通算900勝を達成

1月15日(土)の1回中京5日・第5レースではショウナンハクラクが1着となり、同馬に騎乗した坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)は、現役61人目となるJRA通算200勝(2861戦目)を達成しました。また第7レースではペプチドヤマトが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、史上51人目、現役27人目となるJRA通算900勝(1万351戦目)を達成しました。

●古川吉洋騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

1月15日(土)の1回小倉1日・第1レースでテイエムシニスターに騎乗した古川吉洋騎手(栗東・フリー)は、史上47人目、現役32人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●ラヴズオンリーユーの引退式を東京競馬場で実施

2019年優駿牝馬(オークス)(GI)、2021年クイーンエリザベス2世Cおよび香港カップ(ともに香港GI)、2021年ブリーダーズCフイリー&メアターフ(米GI)などを制したラヴズオンリーユー(牝6歳/栗東・矢作芳人厩舎)の引退式が、1月30日(日)、東京競馬場のパドックで実施されることとなりました。開始は16時45分頃で、JRA公式YouTubeチャンネル、グリーンチャンネル、BS11でも放送される予定です。

●ワグネリアンが死亡

2018年東京優駿(日本ダービー)(GI)などの勝ち馬ワグネリアン(牡7歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算17戦5勝)は、1月5日(水)、多臓器不全のため死亡し、同日付で競走馬登録を抹消されました。

●インディチャンプ、ダノンキングリーの競走馬登録抹消

2019年の安田記念(GI)およびマイルチャンピオンシップ(GI)の勝ち馬インディチャンプ(牡6歳/栗東・音無孝孝厩舎/JRA通算21戦8勝・海外2戦0勝)、2021年安田記念(GI)などの勝ち馬ダノンキングリー(牡5歳/美浦・萩原清厩舎/JRA通算13戦6勝・海外1戦0勝)は、2021年12月22日(水)付で競走馬登録を抹消されました(年齢は抹消時)。インディチャンプは北海道新冠町の優駿スタリオンステーション、ダノンキングリーは北海道安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●年度代表馬はミュウチャリー(船橋)、NARグランプリ2021

NARグランプリ2021の年度代表馬は、4歳以上最優秀牡馬も受賞のミュウチャリー(船橋)、2歳最優秀牡馬はナッジ(北海道)、2歳最優秀牝馬はスピーディキック(北海道)、3歳最優秀牡馬はキャスルトップ(船橋)、3歳最優秀牝馬はケラススヴィア(浦和)、4歳以上最優秀牡馬はサルサディオオーネ(大井)、ダートグレード競走特別賞馬にはカジノフォンテン(船橋)が選ばれました。また、最優秀勝利回数調教師賞は打越勇児調教師(高知)、最優秀賞金取得調教師賞は小久保智調教師(浦和)、最優秀勝利回数騎手賞と最優秀賞金取得騎手賞は森泰斗騎手(船橋)が受賞しています。

●新春ベガサスCはレイジーウォリアー【各地の主要3歳重賞】

新春ベガサスC(1月18日、名古屋、1600m)は、逃げた2番人気のレイジーウォリアー(牝、父マジスティックウォリアー)が1番人気の岩手からの移籍馬アップテンベストを7馬身引き離し、初の重賞制覇を果たしました。

●JpnI覇者テオレマが登場、1月26日のTCK女王盃(大井)

TCK女王盃(JpnIII、1月26日、大井、1800m)は、昨年のJBCレディスクラシック優勝以来となるテオレマが賞金別定の56万でも中心、以下レーヌブランシュ、リネンファッション、ショウナンナデシコ、ダイアナブライト(川崎)、メモリーコウ(大井)、ダノンレジーナ(浦和)、ブランクチェックの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1英オークスを16馬身差圧勝のスノーフォールが死亡

昨年6月のG1英オークス(芝2410m)をレース史上最大着差となる16馬身差で圧勝したスノーフォール(牝4歳)が死亡しました。管理したA.オプライン調教師(愛)が1月11日に明らかにしたもので、馬房で骨盤に重傷を負った後、懸命な治療が続けられていましたが、回復の見込みがなくなったことから安楽死の措置がとられました。スノーフォールはディーブインパクトを父に持つ日本産馬で、おばに凱旋門賞馬ファウンドがいる良血。英オークスのほか、8馬身半差で圧勝した愛オークス(芝2400m)、古馬相手に4馬身差をつけたヨークシャーオークス(芝2370m)とG1を計3勝(3連勝)し、昨年の欧州最優秀3歳牝馬にも選出されました。

●清水裕夫厩舎のベヴンシーベイがUAEでG2に優勝

1月14日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたG2ケープヴェルディ(北半球産馬4歳上牝&南半球産馬3歳上牝、芝1600m)はO.ペリエ騎手を背に後方の内ラチ沿いでレースを進めたベヴンシーベイ(牝6歳、父フットステップスインザサンド)が直線で抜群の切れ味を披露して優勝。重賞初制覇を果たしました。フランスで開業する清水裕夫調教師(40歳)は昨年9月にエゾップで制したG3リュテス賞に続く重賞2勝目です。